

# 農業経営の発展のための展望モデル

— 新たな食料・農業・農村基本計画に対応した経営発展の具体的取組の例示 —

## 1 展望モデルの意義・目的

### (1) 農業者が主体性と創意工夫を発揮できる取組の促進

我が国農業の持続的発展を図るためには、戸別所得補償制度の導入等により意欲あるすべての農業者が農業を継続できる環境を整えるとともに、このような農業者が主体性と創意工夫を発揮し、経営発展することを促していくことが必要である。

### (2) 経営展開の多様な道筋の提示

我が国の農業者の経営実態や経営環境は多様であり、主体的な経営発展を促していくためには、農業者に対し、多様な経営展開の道筋を具体的にわかり易く伝えることが重要であると考えます。

このため、新たな食料・農業・農村基本計画（以下、基本計画という。）に対応した多様な経営発展の方向と具体的取組を「農業経営の発展のための展望モデル」として例示的に示す。

## 2 基本計画に対応した個別モデルの例示

### (1) 個別モデルの分類・例示

我が国の農業の現状を踏まえ、平均的な経営規模の農業者や小規模であっても意欲ある農業者等が経営発展を目指す際の具体的取組を基本計画の主要な施策の方向に対応させて分類した上で例示する。

## ＜経営発展の方向と基本計画の主要な施策の方向＞

各個別モデルは、次のⅠ～Ⅲの基本計画の主要な施策の方向に対応させて分類した上で例示する。

### Ⅰ 食料自給率の向上及び食と農の結び付きの強化

- ・小麦の二毛作の拡大
- ・水田や畑の有効利用
- ・米粉用米・飼料用米、大豆等の作付拡大
- ・技術開発と普及を通じた単収・品質の向上
- ・地産地消の核となる直売所の運営・販売力強化
- ・外食・中食事業者等との連携を通じた国産農産物の利用拡大
- ・国産小麦・大豆・飼料の利用増加

### Ⅱ 農業・農村の6次産業化等による所得の増大

- ・生産・加工・販売の一体化の推進
- ・産地における一次加工の取組の推進
- ・実需者との契約による加工用農産物の生産・販売の推進
- ・非食用作物の育成・強化

### Ⅲ 意欲ある多様な農業経営の推進

- ・経営規模の拡大、多角化・複合化等による経営改善
- ・小規模な農家や兼業農家も参加した集落営農の育成・確保

## (2) 個別モデルの例示内容について

目指す経営発展の方向ごとに個別の展望モデルとして、＜取組のポイント＞、＜経営発展を実現するための具体的取組＞及び＜経営発展のイメージ＞を示す。

なお、各個別モデルの＜経営発展のイメージ＞は、経営発展の過程をイメージできるよう先行的な取組事例や統計データ等を参考に策定・試算したものであり、当面目指すところの現実的な経営を例示的に示したものである。このため、各地域・農業者段階では、これらのモデルを参考として活用し、それぞれの経営環境に応じた経営発展のための取組内容を検討し、創意工夫ある取組を実行されることを期待する。

## 個別モデルの一覧表

### I 食料自給率の向上及び食と農の結び付きの強化

具体的取組	想定品目等	
	品 目	営農類型
① 水田二毛作による農地の高度利用	水稲、小麦、大豆	水田作
② 省力技術、飼料用米の導入、品種分散等による規模拡大	水稲(主食用米、飼料用米)、小麦、大豆	水田作
③ パン・中華めん用小麦の導入による販路開拓	水稲、小麦	水田作
④ 効率的かつ持続的な畑輪作経営の展開	小麦、てん菜、ばれいしょ、大豆	畑 作
⑤ 畑休閑地を活用した大豆の生産拡大	大豆、水稲、小麦	畑作＋水田作
⑥ 夏植栽培から春植・株出栽培への移行	さとうきび	畑 作
⑦ 加工・業務用野菜需要への対応	キャベツ、ほうれん草	野菜作
⑧ 野菜の契約生産の推進	きゅうり、トマト	野菜作
⑨ 果実の直接販売・加工	ぶどう、かき、みかん、キウイ	果樹作
⑩ 国産の低・未利用飼料資源の活用、一貫経営による肥育牛の早期出荷、低コスト生産	肉用牛(肥育)	肉用牛

### II 農業・農村の6次産業化等による所得の増大

具体的取組	想定品目等	
	品 目	営農類型
① 特色ある茶生産や産地加工による高付加価値化	茶	畑 作
② 需要の高いかんきつの導入による経営の安定化	温州みかん、不知火、レモン	果樹作
③ 需要の高い落葉果樹の導入による経営の安定化	りんご、おうとう	果樹作
④ 花きのインターネット等を通じた直接販売	花き(アルストロメリア)	花き作
⑤ 花きのオリジナル品種の導入による販売強化	花き(トルコギキョウ、オランダカスリ、スカシユリ)	花き作
⑥ 酪農家によるチーズ加工の取組	酪農、チーズ加工	酪 農
⑦ 集団化によるブランドの確立と直接販売	肥育豚	養 豚

### III 意欲ある多様な農業経営の推進

具体的取組	想定品目等	
	品 目	営農類型
① 集落営農の組織化	水稲、小麦、大豆	水田作
② そば導入による集落営農の多角化	水稲、そば	水田作
③ 小規模な集落営農	水稲、大豆	水田作
④ 水田作経営の複合化	水稲、レタス、スウィートコーン	水田＋野菜作
⑤ 水稲等の作業の集団化と直売所での野菜販売	水稲、大豆、野菜	水田＋野菜作
⑥ 作業の外部委託化と経営基盤の強化	肉用牛(繁殖)	肉用牛

## 【個別モデルの例示】

### 【経営発展の方向】

#### I 食料自給率の向上及び食と農の結び付きの強化

【基本計画該当箇所】

第2-2 P16

### 【具体的取組】（水田作）

#### ① 水田二毛作による農地の高度利用

#### <取組のポイント>

- 水稲・大豆の裏作として麦を全ての水田に作付ける1年2作とすることで、経営耕地を増やすことなく作付面積を拡大し、収益を向上。

#### <経営発展を実現するための具体的取組>

- 麦収穫後に大豆を効率的に播種する新技術（大豆300A技術）を導入。
  - 作期競合を緩和するため、麦収穫後に定植する晩植適応性水稲品種を導入。
  - 大豆等の湿害を防止するためのブロックローテーションを実施。
- 【国は、麦・大豆の作付に直接助成するとともに、新技術導入、共同利用施設の整備等を支援】

#### <経営発展のイメージ>

##### 関東以西販売農家（2年3作）

【経営概況】 経営耕地 4.2ha  
 水稲 2.8ha(早期) 小麦 1.4ha(転作)  
 大豆 1.4ha(転作)  
 作付延べ面積 5.6ha

【経営収支】  
 農業粗収益 520万円  
 （うち助成金等 49万円）  
 農業経営費 320万円  
 農業所得 200万円

【労働時間】 500時間/人  
 【従事者数】 家族2人

※ 助成金等には、産地確立交付金を含む。

##### 水田二毛作（1年2作）による取組

【経営概況】 経営耕地 4.2ha  
 水稲 2.8ha(晩植) 小麦 4.2ha(裏作)  
 大豆 1.4ha(転作)  
 作付延べ面積 8.4ha

【経営収支】  
 農業粗収益 760万円  
 （うち助成金等 150万円）  
 農業経営費 430万円  
 農業所得 330万円

【労働時間】 700時間/人  
 【従事者数】 家族2人

※ 助成金等には、戸別所得補償制度モデル対策を含む。

1年2作で  
作付を拡大

#### （参考）<主な支援策（22年度）>

- 戸別所得補償制度モデル対策  
恒常的に販売価格が生産費を下回る米に対して所得補償を直接支払により実施。自給力向上のため、麦、大豆等の戦略作物の作付に直接助成（転作及び2毛作）。
- 自給力向上戦略的作物等緊急需要拡大対策事業  
需要拡大に資する生産技術を導入する取組として、大豆300A技術の導入のための実証ほの設置、大豆の複数年契約栽培の推進への助成。
- 農業制度資金（スーパーL資金、農業近代化資金、農業改良資金等）
- 農業機械等のリース、共同利用施設整備に対する各種補助事業

**【経営発展の方向】**

**I 食料自給率の向上及び食と農の結び付きの強化**

**【具体的取組】（水田作）**

- ② 省力技術、飼料用米の導入、品種分散等による規模拡大（2年3作）

**【基本計画該当箇所】**

第2-2 P16  
第3-2  
(3)-① P26

**<取組のポイント>**

- 主要な機械・施設の共同利用等によるコストの削減と併せて、省力技術の導入や作期の異なる品種の組み合わせなどにより規模拡大を図り、収益を向上。

**<経営発展を実現するための具体的取組>**

- 近隣農家とのコンバイン、選別機等の主要な機械・施設の共同利用や中古農業機械の活用等により、農業機械コストを抑制。
- 水稻直播栽培の導入により、水稻の育苗・移植作業の省略等の省力化を図るとともに、大豆300A技術（安定多収生産技術）を導入し、麦の収穫作業との労働競合を回避。
- 水稻については、早生・中生・晩生品種を組み合わせ、収穫期間を分散（10日→30日）することにより規模拡大を可能とし、地域の調整水田を活用して飼料用米（多収米品種）も導入しながら、コンバイン1台当たりの稼働面積を拡大。  
【国は、水田の有効活用による飼料用米、麦、大豆の作付に直接助成するとともに、共同利用施設の整備等を支援】

**<経営発展のイメージ>**

**都府県販売農家**

【経営概況】	経営耕地	4.5ha
	主食用米	2.7ha
	麦	1.8ha
	大豆	1.8ha
	作付延べ面積	6.3ha

【経営収支】	
農業粗収益	560万円
（うち助成金等）	210万円
農業経営費	340万円
農業所得	220万円

【労働時間】	500時間/人
【従事者数】	家族2人

省力化や作期分散による規模拡大

**低コスト・省力化及び規模拡大の取組**

【経営概況】	経営耕地	18.0ha
	主食用米	10.8ha
	飼料用米	1.8ha
	麦	5.4ha
	大豆	5.4ha
	作付延べ面積	23.4ha

【経営収支】	
農業粗収益	2,470万円
（うち助成金等）	940万円
農業経営費	1,210万円
農業所得	1,260万円

【労働時間】	1,200時間/人
【従事者数】	家族2人

※ 助成金等には、戸別所得補償制度モデル対策を含む。

**（参考）<主な支援策（22年度）>**

- 戸別所得補償制度モデル対策  
恒常的に販売価格が生産費を下回る米に対して所得補償を直接支払により実施。  
水田の有効活用による麦、大豆、新規需要米等の戦略作物の作付に直接助成。
- 農業制度資金（スーパーL資金、農業近代化資金、農業改良資金等）
- 農業機械等のリース、共同利用施設整備に対する各種補助事業

## 【経営発展の方向】

### I 食料自給率の向上及び食と農の結び付きの強化

## 【基本計画該当箇所】

第2-2 P16  
第3-1  
(2)-① P19

## 【具体的取組】（水田作）

### ③パン・中華めん用小麦の導入による販路開拓

#### <取組のポイント>

- 小麦作付面積の一部をパン・中華めん用として実需者の評価が高い春まき小麦（北海道産）に転換。
- 単収向上技術に資する新技術（初冬まき栽培技術）を導入し、収益を向上。

#### <経営発展を実現するための具体的取組>

- 多収で病害虫に強いパン・中華めん用小麦の春小麦の新品種を導入。
- 生育期間を確保して春まき小麦の単収向上を実現する「初冬まき栽培技術」を導入。
- 地域の製粉・製パン事業者等との連携による国産小麦に着目した商品を開発。  
【国は、水田の有効活用による麦の作付に直接助成するとともに、共同利用施設の整備等を支援】

#### <経営発展のイメージ>

##### 北海道水田作農家

【生産概況】	経営耕地	12ha
水稲		7ha
小麦（日本めん用）		5ha

【経営収支】	
農業粗収益	1,100万円
（うち助成金等	180万円）
農業経営費	710万円
農業所得	390万円

【労働時間】	700時間/人
【従事者数】	家族2人

※ 助成金等には、産地確立交付金を含む。

##### 需要に応じた生産・販売の取組

【生産概況】	経営耕地	12ha
水稲		7ha
小麦		5ha
日本めん用小麦		2ha
パン・中華めん用小麦		3ha

【経営収支】	
農業粗収益	1,270万円
（うち助成金等	270万円）
農業経営費	720万円
農業所得	550万円

【労働時間】	700時間/人
【従事者数】	家族2人

※ 助成金等には、戸別所得補償制度モデル対策を含む。

パン・中華  
めん用小麦  
の導入

#### （参考）<主な支援策（22年度）>

- 戸別所得補償制度モデル対策  
恒常的に販売価格が生産費を下回る米に対して所得補償を直接支払により実施。  
自給力向上のため、麦等の戦略作物の作付に直接助成（転作）。
- 自給力向上戦略的作物等緊急需要拡大事業  
食品製造事業者等に対して、国産原料を使用した商品開発に必要な原材料購入、試作品製造、試験販売等に要する経費を助成。
- 産地収益力向上支援事業  
パン・中華めん用小麦の生産拡大に資する省力・低コスト栽培技術の導入に伴う経費について助成。
- 農業制度資金（スーパーL資金、農業近代化資金、農業改良資金等）
- 農業機械等のリース、共同利用施設整備に対する各種補助事業

## 【経営発展の方向】

### I 食料自給率の向上及び食と農の結び付きの強化

## 【基本計画該当箇所】

第2-2 P16  
第3-2  
(2)-⑤ P25  
(3)-① P26

## 【具体的取組】（畑作）

### ④ 効率的かつ持続的な畑輪作経営の展開

#### <取組のポイント>

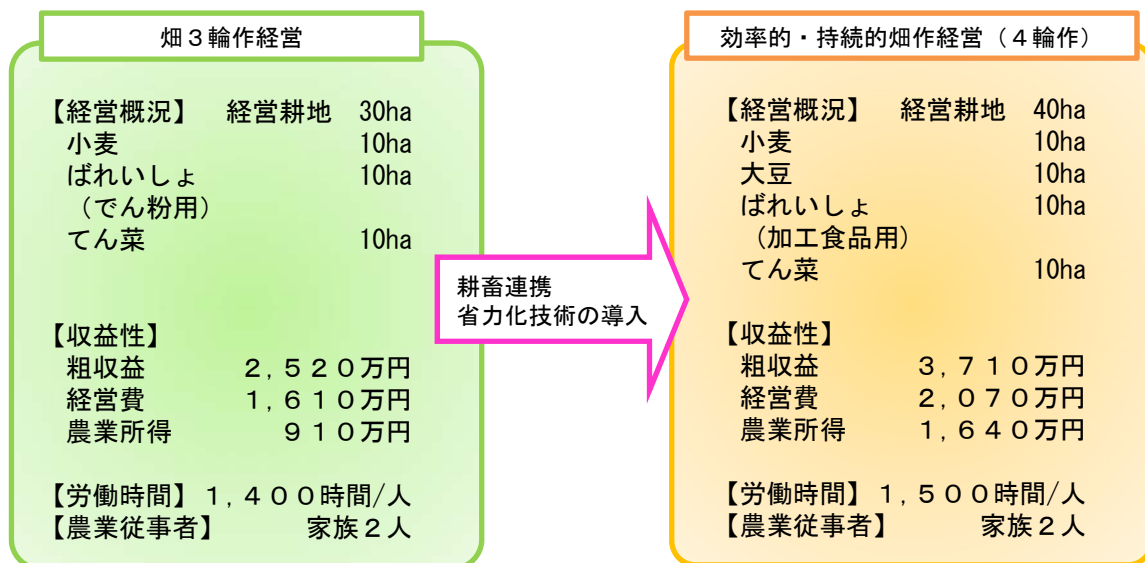
- 家畜排せつ物等の未利用資源の活用や、望ましい輪作体系の導入により、単位面積当たり経営費を節減しつつ規模を拡大。

#### <経営発展を実現するための具体的取組>

- 耕畜連携により家畜排せつ物を利活用。
- 豆類の導入により望ましい輪作体系を確立。
- てん菜の直播栽培を導入し、春作業の省力化を図り経営規模を拡大。
- ばれいしょについては、高品質ばれいしょを省力的に生産できるソイルコンディショニング技術を導入し、加工用途に販路拡大。

【国は、ソイルコンディショニング技術等の導入に必要な共同利用機械の整備等を支援】

#### <経営発展のイメージ>



#### （参考）<主な支援策（22年度）>

- 自給力向上戦略的作物等緊急拡大事業  
地域の食品製造事業者との結び付きを強化するため、大豆の複数年契約栽培の推進への助成。
- 産地収益力向上支援事業  
加工食品用ばれいしょの高品質かつ省力的な生産技術であるソイルコンディショニング技術の導入の助成。
- 農業機械等のリース、共同利用施設整備に対する各種補助事業
- 農業制度資金（スーパーL資金、農業近代化資金、農業改良資金等）

### 【経営発展の方向】

#### I 食料自給率の向上及び食と農の結び付きの強化

### 【具体的取組】（畑作＋水田作）

#### ⑤ 畑休閑地を活用した大豆の生産拡大

### 【基本計画該当箇所】

第2-2	P16
第3-1	
(2)-①	P19
第3-2	
(3)-①	P26

### <取組のポイント>

- 転作大豆農家が地域内の畑休閑地を活用して規模拡大し、収益を向上。
- 畑大豆は、連作障害を回避するため野菜農家と交換耕作を実施。

### <経営発展を実現するための具体的取組>

- 大豆コンバインの能力をフル活用するため、畑休閑地を利用して規模拡大。
  - 大豆生産に熟練した農家が管理することにより、高品質高単収を実現。
  - 近隣の野菜農家と連携して大豆と野菜と2年に一度の交換耕作を実施。
- 【国は、水田の有効活用による麦、大豆の作付に直接助成するとともに、複数年契約栽培の推進等を支援】

### <経営発展のイメージ>

#### 都府県水田作販売農家

【経営概況】	経営耕地	4.2ha
	水稲	2.8ha
	小麦	1.4ha(裏作)
	大豆	1.4ha(転作)
	作付延べ面積	5.6ha
【経営収支】		
	農業粗収益	520万円
	(うち助成金等)	49万円)
	農業経営費	320万円
	農業所得	200万円
【労働時間】	500時間/人	
【従事者数】	家族2人	

※ 助成金等には、産地確立交付金を含む。

#### 畑休閑地を活用した取組

【経営概況】	経営耕地	7.4ha
	水稲	2.8ha
	小麦	1.4ha(裏作)
	大豆	4.6ha(田1.4ha、畑3.2ha)
	作付延べ面積	8.8ha
【経営収支】		
	農業粗収益	780万円
	(うち助成金等)	150万円)
	農業経営費	410万円
	農業所得	370万円
【労働時間】	600時間/人	
【従事者数】	家族2人	

※ 助成金等には、戸別所得補償制度モデル対策を含む。

畑休閑地で大豆作付を拡大

### (参考) <主な支援策(22年度)>

- 戸別所得補償制度モデル対策  
恒常的に販売価格が生産費を下回る米に対して所得補償を直接支払により実施。  
自給力向上のため、麦、大豆等の戦略作物の作付に直接助成(転作及び2毛作)。
- 自給力向上戦略的作物等緊急拡大事業  
地域の食品製造事業者との結び付きを強化するため、大豆の複数年契約栽培の推進への助成。
- 農業機械等のリース、共同利用施設整備に対する各種補助事業
- 農業制度資金(スーパーL資金、農業近代化資金、農業改良資金等)

## 【経営発展の方向】

### I 食料自給率の向上及び食と農の結び付きの強化

【基本計画該当箇所】

第2-2 P16

## 【具体的取組】(畑作)

- ⑥ 夏植栽培から春植・株出栽培への移行  
(さとうきび)

### <取組のポイント>

- 2年1作の夏植栽培から毎年収穫できる春植・株出栽培への移行により、同じ経営規模であっても年間の収穫面積の拡大を図り、収益を増大。

### <経営発展を実現するための具体的取組>

- 株出栽培への移行を阻害している土壌害虫の効率的な防除技術(誘因剤含有農薬)を導入。
- 株出管理作業や収穫作業の受委託を推進し、生産コストを縮減。
- 夏植より生育期間が短くなるマイナス面に対応するため、高単収品種や早期高糖性品種へ転換。  
【国は、収穫作業等の受委託を支援するとともに、早期高糖性品種等の普及等を推進】

### <経営発展のイメージ>

#### さとうきび農家

##### 【経営概況】夏植栽培

経営耕地	2.5ha
さとうきび作付面積	2.5ha
うち当年度収穫面積	1.3ha
うち次年度収穫面積	1.3ha

##### 【経営収支】

農業粗収益	220万円
(うち助成金等)	170万円)
農業経営費	120万円
農業所得	100万円

【労働時間】 1,200時間/人  
【従事者数】 家族1人

#### 春植・株出栽培への移行

##### 【経営概況】春植・株出栽培

経営耕地	2.5ha
さとうきび作付面積	2.5ha
うち収穫面積	2.5ha

##### 【経営収支】

農業粗収益	350万円
(うち助成金等)	270万円)
農業経営費	180万円
農業所得	170万円

【労働時間】 1,200時間/人  
【従事者数】 家族1人

春植株出栽培で  
収穫面積拡大

### (参考) <主な支援策(22年度)>

- 甘味資源作物交付金(国内産品と輸入品との生産条件格差を是正するための交付金)
- さとうきび安定生産確立対策事業(ハーベスタ等の共同利用機械の導入助成)
- 畑作等緊急構造改革支援事業(さとうきびの作業受委託に対する助成)
- 農業制度資金(スーパーL資金、農業近代化資金、農業改良資金等)
- 農業機械等のリース、共同利用施設整備に対する各種補助事業

## 【経営発展の方向】

### I 食料自給率の向上及び食と農の結び付きの強化

## 【基本計画該当箇所】

第3-1  
(2)-② P19

第3-2  
(2)-① P24

## 【具体的取組】（野菜作）

### ⑦ 加工・業務用野菜需要への対応

#### <取組のポイント>

- 需要が高まっている加工・業務用途向け野菜の生産に取り組み、生食用と比べて単価は安いものの、安定的な取引と規模拡大により収益を向上。

#### <経営発展を実現するための具体的取組>

- 外食・中食業者や加工業者の需要に対応した原材料を安定的に供給するサプライチェーンを構築。契約取引を中心とした取引により経営を安定化。
- 大型規格での栽培による歩留まりの向上や単収の増大、一斉収穫や機械化等による作業の省力化により、労働時間を増やさずに経営規模を拡大。
- 段ボール箱を使わないコンテナ出荷等により、資材コストと出荷コストを低減。  
【国は、農家の契約取引に伴う数量確保や価格低落などのリスク軽減を支援】

#### <経営発展のイメージ>

##### 全国主業農家（露地野菜）

【経営概況】	経営耕地	150a
キャベツ		99a
ほうれんそう		64a
作付延べ面積		163a

【経営収支】		
農業粗収益	610万円	
農業経営費	310万円	
農業所得	300万円	

【労働時間】 1,200時間/人  
【従事者数】 家族2人

##### 加工・業務用対応の取組 （露地野菜）

【経営概況】	経営耕地	232a
キャベツ		99a
ほうれんそう		390a
作付延べ面積		489a

【経営収支】		
粗収益	1,670万円	
経営費	820万円	
農業所得	850万円	

【労働時間】 1,200時間/人  
【従事者数】 家族2人

加工・業務用  
に安定販売  
省力化体系で  
規模拡大

#### （参考）<主な支援策（22年度）>

- 野菜価格安定制度（契約野菜安定供給事業）
- 水田利活用自給率向上支援事業（水田の場合）  
自給力向上のため、野菜の作付に直接助成。
- 農業制度資金（スーパーL資金、農業近代化資金、農業改良資金等）
- 農業機械等のリース、共同利用施設整備に対する各種補助事業

## 【経営発展の方向】

### I 食料自給率の向上及び食と農の結び付きの強化

## 【基本計画該当箇所】

第3-1  
(2)-② P19

第3-2  
(2)-① P24

## 【具体的取組】（野菜作）

### ⑧ 野菜の契約生産の推進

#### <取組のポイント>

- 生協や量販店等と契約生産を行うことにより、年間を通じた販売単価の維持と計画的出荷を実現。
- これにより、リスクをおさえつつ規模を拡大し、収益を向上。

#### <経営発展を実現するための具体的取組>

- 安定的な販売先を確保・拡大するため、商談会・交流会等に積極的に参加。
- 施設内の温度や湿度、光、炭酸ガス濃度等の栽培環境を複合的に制御することにより出荷期間の長期化を図り、作業の平準化・軽労化を推進。
- 産地内の生産者と連携し、契約数量・品質を遵守する安定供給体制を構築。  
【国は、農家の契約取引に伴う数量確保や価格低落などのリスク軽減を支援】

#### <経営発展のイメージ>

##### 全国主業農家（施設野菜）

【経営概況】経営耕地	26a
きゅうり	26a
トマト	26a
作付延べ面積	52a

【経営収支】	
農業粗収益	2,030万円
農業経営費	1,650万円
農業所得	380万円

【労働時間】	2,100時間/人
【従事者数】	家族 2人
	臨時雇用 1人

契約生産で  
安定出荷

##### 契約生産の取組（施設野菜）

【経営概況】経営耕地	52a
きゅうり	52a
トマト	52a
作付延べ面積	104a

【経営収支】	
農業粗収益	3,700万円
農業経営費	2,860万円
農業所得	840万円

【労働時間】	2,000時間/人
【従事者数】	家族 2人
	常時雇用 1人
	臨時雇用 4人

#### （参考）<主な支援策（22年度）>

- 野菜価格安定制度（契約野菜安定供給事業）
- 水田利活用自給率向上支援事業（水田の場合）  
自給力向上のため、野菜の作付に直接助成。
- 農業制度資金（スーパーL資金、農業近代化資金、農業改良資金等）
- 農業機械等のリース、共同利用施設整備に対する各種補助事業

### 【経営発展の方向】

#### I 食料自給率の向上及び食と農の結び付きの強化

【基本計画該当箇所】

第3-1  
(2)-①② P19  
第3-2  
(2)-① P24

### 【具体的取組】（果樹作）

#### ⑨ 果実の直接販売・加工

#### <取組のポイント>

- 経営規模の拡大に加え、直売所と宅配による直接販売や、ジュース、ジャムへの加工・販売を実施。
- 生果と加工品を組合わせて贈答用高付加価値販売に取り組むことにより、収益を向上。

#### <経営発展を実現するための具体的取組>

- 収穫期が分散できる多様な品種を栽培することで、大規模経営を実現。
- 収穫した果実の一部をジャムやジュースに自ら加工。直売所と宅配による全量直接販売により収益を向上。
- 家族経営協定により、加工・販売部門の責任者を明確化し、多様な品種と加工品を活用した高収益商品の開発・販売を実現。

【国は、優良品目・品種の導入や、加工・販売施設の導入を支援】

#### <経営発展のイメージ>

##### ぶどう農家

#### 【経営概況】

経営耕地	46a
ぶどう	46a

#### 【経営収支】

農業粗収益	310万円
農業経営費	150万円
農業所得	160万円

【労働時間】 1,100時間/人

【従事者数】 家族2人

##### 直接販売・加工販売の取組

#### 【経営概況】

経営耕地	316a
ぶどう	285a
かき	17a
みかん	10a
キウイ	4a

#### 【経営収支】

農業粗収益	3,090万円
農業経営費	1,500万円
農業所得	1,590万円

【労働時間】 1,600時間/人

【従事者数】 家族 4人  
臨時雇用 13人  
(農作業8人、販売管理5人)

多様な品種で  
規模拡大  
自ら販売・加工

#### (参考) <主な支援策(22年度)>

- 果樹経営支援対策事業
- 農業制度資金(スーパーL資金、農業近代化資金、農業改良資金等)
- 農業機械等のリース、共同利用施設整備に対する各種補助事業

## 【経営発展の方向】

### I 食料自給率の向上及び食と農の結びつき強化

## 【具体的取組】（肉用牛肥育）

- ⑩ 国産の低・未利用飼料資源の活用、一貫経営による肥育牛の早期出荷、低コスト生産

## 【基本計画該当箇所】

第2-2	P16
第3-1	
(2)-①	P19
第3-2	
(2)-⑤	P25

### <取組のポイント>

- 国産粗飼料や、従来、低・未利用であるエコフィードの活用による飼料費の低減とともに、肥育牛の早期出荷、作業の外部委託を通じた省力化により収益性を向上。

### <経営発展を実現するための具体的取組>

- 飼料自給率向上、飼料費の低減に向けた自給飼料増産やエコフィードの利用拡大に際し、コントラクター（飼料生産受託組織）やTMR（完全混合飼料）センターを利活用することで省力化、外部化を推進。
  - 繁殖・肥育一貫経営への移行による肥育牛の出荷月齢の早期化によって一頭当たりの生産コストを低減。
- 【国は、作業受託組織の活動、共同利用施設整備を支援】

### <経営状況のイメージ>

#### 肥育牛経営（肉専用種）

##### 【経営概況】

###### 飼養規模

肥育牛頭数 139頭

###### 飼料作付地

2.2ha

##### 【経営収支】

農業粗収益 8,540万円

農業経営費 7,490万円

農業所得 1,050万円

【労働時間】 2,000時間/人

【従事者数】 家族2人  
雇用1人

#### 国産の低・未利用の飼料資源の活用、 肥育牛の早期出荷による低コスト生産

##### 【経営概況】

###### 飼養規模

肥育牛頭数 100頭

繁殖雌牛頭数 50頭

###### 飼料作付地

8.7ha

##### 【経営収支】

農業粗収益 5,540万円

農業経営費 4,300万円

農業所得 1,240万円

【労働時間】 2,000時間/人

【従事者数】 家族2人  
雇用1人

低・未利用飼料  
資源の活用と肥  
育牛の早期出荷

### （参考）<主な支援策（22年度）>

- 肉用牛肥育経営安定対策による一時的な収益性の悪化に対する支援。
- 肉用子牛補給金制度等による子牛の価格低落時の支援。
- エコフィード利活用の円滑化等を図るための支援組織等への活動支援。
- 自給飼料の収穫機械等の導入に係るリース、共同利用施設整備に対する各種補助事業
- 農業制度資金（スーパーL資金、農業近代化資金、農業改良資金等）

## 【経営発展の方向】

### Ⅱ 農業・農村の6次産業化等による所得の増大

【基本計画該当箇所】

第3-2  
(2)-①② P24  
(3)-① P26

## 【具体的取組】(畑作)

### ① 特色ある茶生産や産地加工による高付加価値化

#### <取組のポイント>

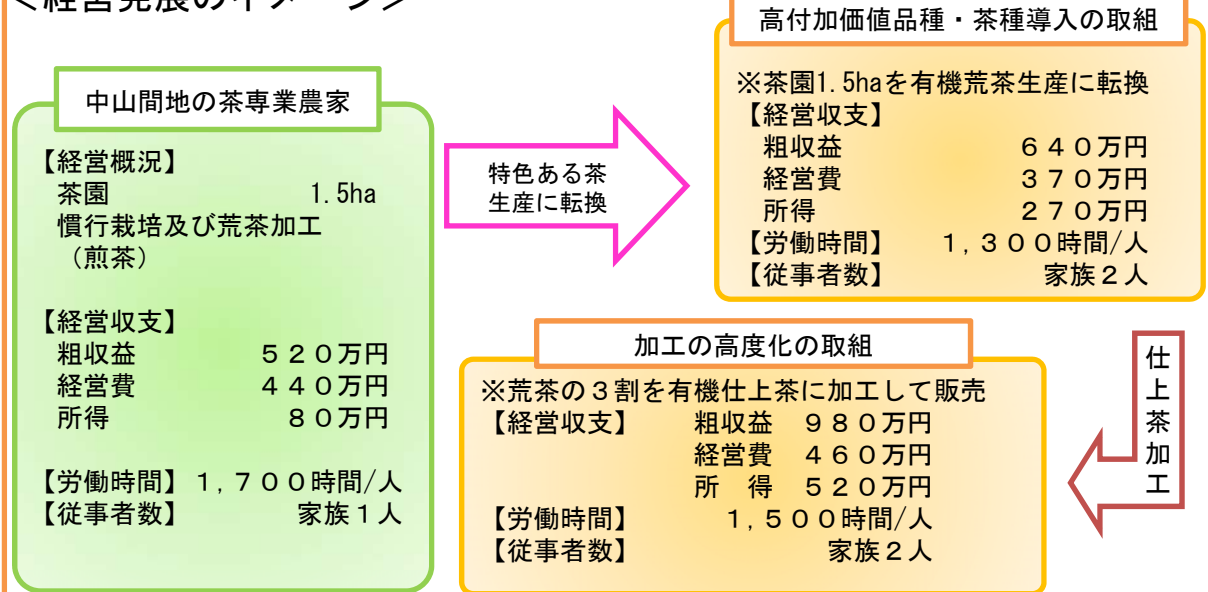
- 新品種や有機栽培等の導入を通じた特色ある茶の生産と荒茶への加工により、茶園面積を拡大することなく収益性を向上。
- 自ら仕上茶加工を行うことにより、更に経営を発展。

#### <経営発展を実現するための具体的取組>

- 香り・水色などに特色ある新品種の導入、玉露やてん茶など付加価値の高い茶種の生産、国内外からの需要の大きい有機茶や無農薬栽培茶の生産を実施。
- 荒茶加工の共同化や既存施設の再編により、加工コストの削減や品質の安定化を実現。
- さらに、茶の中間製品(荒茶)生産に止まらず最終商品(仕上茶)を自ら製造するため、加工を高度化(産地自らによる仕上茶加工)。

【国は、産地と茶商工業者との連携を推進するとともに、共同利用施設の整備等を支援】

#### <経営発展のイメージ>



#### (参考) <主な支援策(22年度)>

- 国産原材料サプライチェーン構築事業  
消費者の多様なニーズを踏まえた特色あるリーフ茶の生産体制の構築や新商品の開発など、産地と茶商工業者等の連携による茶の需要拡大に向けた取組への支援。
- 産地収益力向上支援事業  
特色ある茶の新品種導入、おいしい茶の省力生産技術の導入、低農薬・高収量栽培技術の導入など、産地自らによる収益性向上に向けた取組への支援。
- 農業機械等のリース、共同利用施設整備に対する各種補助事業
- 農業制度資金(スーパーL資金、農業近代化資金、農業改良資金等)

## 【経営発展の方向】

### Ⅱ 農業・農村の6次産業化等による所得の増大

## 【具体的取組】（果樹作）

- ② 需要の高いかんきつの導入による経営の安定化

## 【基本計画該当箇所】

第3-1	
(2)-①	P19
第3-2	
(2)-②	P24
(3)-①	P26

### <取組のポイント>

- うんしゅうみかんに需要の高いデコポンとレモンを組み合わせ、作期・労力の分散により生産規模を拡大。販売期間も拡大し、収益を向上。

### <経営発展を実現するための具体的取組>

- みかんに加え、産地に適した高収益品目（デコポン、レモン）を導入。
- 各品目の収穫時期が異なる（うんしゅうみかん9～12月、デコポン1～3月、レモン9～翌4月）ことから販売期間の拡大と労力分散による規模拡大を実現。
- 作付品目・品種の拡大は気象災害・価格変動リスクも軽減し、経営を安定化。  
【国は、改植や園地整備、共同利用施設整備等を支援】

### <経営発展のイメージ>

#### うんしゅうみかん農家

【経営概況】 経営耕地 0.8ha

【経営収支】

農業粗収益	340万円
農業経営費	210万円
農業所得	130万円

【労働時間】 1,000時間/人

【従事者数】 家族2人

うんしゅうみかん単作では・・・

- 経営面積の拡大が困難  
（作業時間ピークの問題）
- おもて・うら年による価格変動  
リスクの影響
- 気象災害によりほ場全体に打  
撃を受けるリスク大
- 貯蔵性がないため、計画出荷  
が困難

収穫時期：9月～12月  
（うんしゅうみかん）

#### うんしゅうみかんを中心と したかんきつ複合経営の取組

【経営概況】 経営耕地	2.1ha
うんしゅうみかん	1.2ha
不知火（デコポン）	0.5ha
レモン	0.4ha

【経営収支】

農業粗収益	1,210万円
農業経営費	570万円
農業所得	650万円

【労働時間】 1,900時間/人

【従事者数】 家族2人  
雇用1人

収穫時期：9月～翌4月  
（うんしゅうみかん：9月～12月）  
（不知火：1月～3月）  
（レモン：9月～翌4月）

優良品目、  
品種の導入  
と規模拡大

### （参考）<主な支援策（22年度）>

- 果樹経営支援対策  
うんしゅうみかんから優良中晩柑への改植や園地整備等の支援を実施。
- 農業災害補償制度（果樹共済）
- 農業制度資金（スーパーL資金、農業近代化資金、農業改良資金等）
- 農業機械等のリース、共同利用施設整備に対する各種補助事業

## 【経営発展の方向】

### Ⅱ 農業・農村の6次産業化等による所得の増大

## 【具体的取組】（果樹作）

- ③ 需要の高い落葉果樹の導入による経営の安定化

## 【基本計画該当箇所】

第3-1	
(2)-①	P19
第3-2	
(2)-②	P24
(3)-①	P26

### <取組のポイント>

- りんごに経営収支の高いおうとう(さくらんぼ)を組み合わせ、作期・労力の分散により生産規模を拡大。販売期間も拡大し、収益を向上。

### <経営発展を実現するための具体的取組>

- りんごに加え、産地に適した高収益品目(おうとう)を導入。
- 各品目の収穫時期が異なることから販売期間の拡大と労力分散による規模拡大を実現。
- 複数品目の作付により、災害、価格変動リスクを軽減。  
【国は、改植や園地整備、共同利用施設整備等を支援】

### <経営発展のイメージ>

#### りんご農家

【経営概況】	経営耕地 1.0 ha
【経営収支】	
農業粗収益	400万円
農業経営費	230万円
農業所得	170万円
【労働時間】	1,300時間/人
【従事者数】	家族2人

りんご単作では・・・

- 経営面積の拡大が困難  
(作業時間ピークの問題)
- 気象災害によりほ場全体に打撃を受けるリスクが大きい

収穫時期：9～11月  
(りんご)

#### りんごを中心とした 落葉果樹複合経営

【経営概況】	経営耕地 2.0ha
りんご	1.7ha
おうとう(さくらんぼ)	0.3ha
【経営収支】	
農業粗収益	1,250万円
農業経営費	510万円
農業所得	740万円
【労働時間】	1,900時間/人
【従事者数】	家族2人 雇用1人

収穫時期：6～11月  
(おうとう(さくらんぼ)：6～7月)  
(りんご：9～11月)

高収益品目の  
導入と規模拡大

### (参考) <主な支援策(22年度)>

- 果樹経営支援対策  
優良品種への改植や園地整備等の支援を実施。
- 農業制度資金(スーパーL資金、農業近代化資金、農業改良資金等)
- 農業災害補償制度(果樹共済)
- 農業機械等のリース、共同利用施設整備に対する各種補助事業

## 【経営発展の方向】

### Ⅱ 農業・農村の6次産業化等による所得の増大

## 【基本計画該当箇所】

第3-2  
(2)-① P24  
(2)-③ P25

## 【具体的取組】（花き作）

### ④ 花きのインターネット等を通じた直接販売

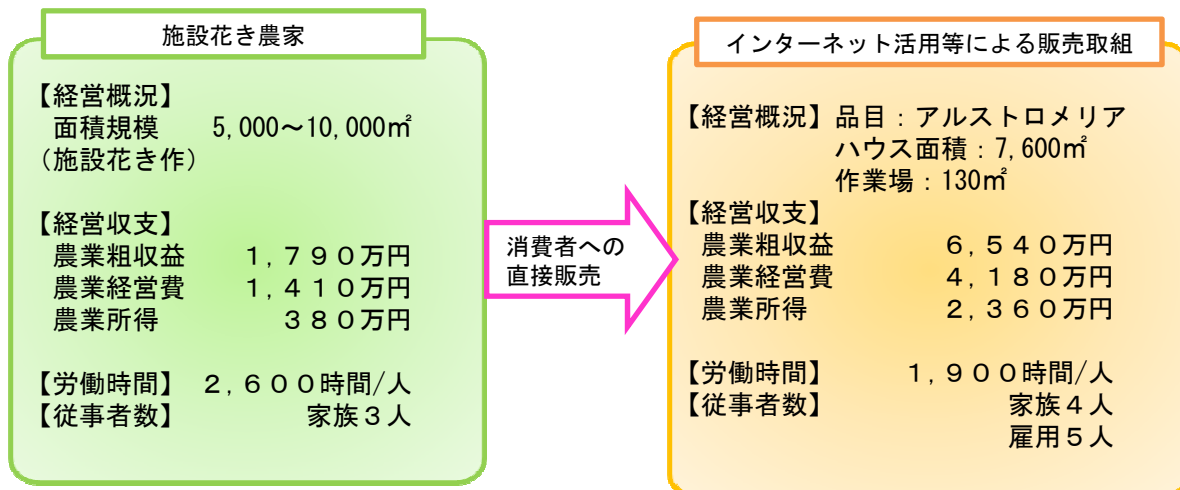
#### <取組のポイント>

- インターネット販売等を通じた消費者等への直接販売により平均的な栽培規模でも収益を向上。直接把握した消費トレンドに対応した生産・販売を実施。

#### <経営発展を実現するための具体的取組>

- インターネット販売により、売れ行きや生産コスト等を踏まえて自ら値決め。
  - 消費トレンドに応じて機動的に新品種を導入することによる有利販売を実現。
  - フラワーバケットの活用等により収穫作業を効率化。
  - フラワーバインダー導入等機械化を通じて出荷調整作業時間を短縮。
- 【国は、共同利用施設整備等を支援】

#### <経営発展のイメージ>



#### (参考) <主な支援策 (22年度) >

- 産地収益力向上支援事業  
新品種導入、省力生産技術の導入等、産地自らによる収益性向上に向けた取組への支援。
- 農業機械等のリース、共同育苗施設等整備に対する各種補助事業
- 農業制度資金 (スーパーL資金、農業近代化資金、農業改良資金等)

### 【経営発展の方向】

## Ⅱ 農業・農村の6次産業化等による所得の増大

【基本計画該当箇所】

第3-2  
(2)-③ P25

### 【具体的取組】（花き作）

#### ⑤ 花きのオリジナル品種の導入による販売強化

#### <取組のポイント>

- 平均的な栽培規模であっても、オリジナル品種による差別化・有利販売により収益性を改善。

#### <経営発展を実現するための具体的取組>

- 花色等がめずらしい品種を育成し、農園オリジナル品種として全国の市場に出荷。
- 他産地になく、希少価値があることから、高単価で販売し、経営を安定化。
- 外部遮光カーテン等の設置により、光熱費を削減。

【国は、共同利用施設整備等を支援】

#### <経営発展のイメージ>

##### 施設花き農家

###### 【経営概況】

面積規模 5,000~10,000㎡  
(施設花き作)

###### 【経営収支】

農業粗収益 1,790万円  
農業経営費 1,410万円  
農業所得 380万円

【労働時間】 2,600時間/人  
【従事者数】 家族3人

オリジナル品  
種で有利販売

##### オリジナル品種販売取組

###### 【経営概況】

栽培面積 5,000㎡  
(トルコギキョウ、オリエンタルユリ、  
スカシユリ)  
・育種パイプハウス：300㎡  
・鉄骨ハウス：4,700㎡

###### 【経営収支】

農業粗収益 6,860万円  
農業経営費 4,000万円  
農業所得 2,840万円

【労働時間】 2,800時間/人  
【従事者数】 家族3人  
雇用2人

#### (参考) <主な支援策(22年度)>

- 産地収益力向上支援事業  
新品種導入、省力生産技術の導入等、産地自らによる収益性向上に向けた取組への支援。
- 農業機械等のリース、共同育苗施設等整備に対する各種補助事業
- 農業制度資金(スーパーL資金、農業近代化資金、農業改良資金等)

## 【経営発展の方向】

### Ⅱ 農業・農村の6次産業化等による所得の増大

## 【具体的取組】（酪農）

### ⑥ 酪農家によるチーズ加工の取組

## 【基本計画該当箇所】

第3-2  
(2)-① P24  
(3)-① P26

### <取組のポイント>

- 経営の多角化として特色のあるチーズ製造を行うとともに、効率的な放牧により経営コストの低減を図り、経産牛頭数は維持しつつ収益を増大。

### <経営発展を実現するための具体的取組>

- 酪農家が生産した生乳を直接チーズに加工。そのため、チーズ製造技術の導入が重要。
- 製造したチーズの販売のため、インターネット、道の駅や地域の観光と連携した直売、生協や量販店等との契約生産など販売チャンネルを開拓。
- 効率的な放牧を通じた省力化等により、生乳生産コストを低減。  
【国は、チーズ加工施設整備や放牧の取組に対して支援】

### <経営発展のイメージ>

#### 主業酪農家

##### 【経営概況】

経産牛頭数	41頭
飼料作付地	18ha
放牧地	3ha

##### 【経営収支】

農業粗収益	3,710万円
農業経営費	3,190万円
農業所得	520万円

【労働時間】 2,000時間/人  
【従事者数】 家族2人

自らチーズ加工

#### 経営の多角化、放牧の取組

##### 【経営概況】

経産牛頭数	40頭
飼料作付地	18ha
放牧地	3ha

##### 【経営収支】（チーズ製造含む）

農業粗収益	6,320万円
農業経営費	5,620万円
農業所得	700万円

【労働時間】 2,000時間/人  
【従事者数】 家族2人、雇用1人

### （参考）<主な支援策（22年度）>

- 加工原料乳生産者補給金制度  
加工原料乳地域の生乳の再生産の確保等を図ることを目的に、加工原料乳の生産者に補給金を交付。
- 国産チーズ供給拡大・高付加価値化対策事業  
国産チーズ向け生乳を拡大するとともに、特色ある国産ナチュラルチーズの製造技術向上に必要な人材の育成及び機材整備を支援。
- 資源循環型酪農推進事業  
環境と調和した酪農経営を確立するため、環境保全、飼料自給率の向上に資する取組を実践している生産者に対し、飼料作付面積に応じた支援。
- 農業制度資金（スーパーL資金、農業近代化資金、農業改良資金等）
- 農業機械等のリース、共同利用施設整備に対する各種補助事業

### 【経営発展の方向】

## Ⅱ 農業・農村の6次産業化等による所得の増大

【基本計画該当箇所】

第3-2  
(2)-①② P24

### 【具体的取組】（養豚）

#### ⑦ 集団化によるブランドの確立と直接販売

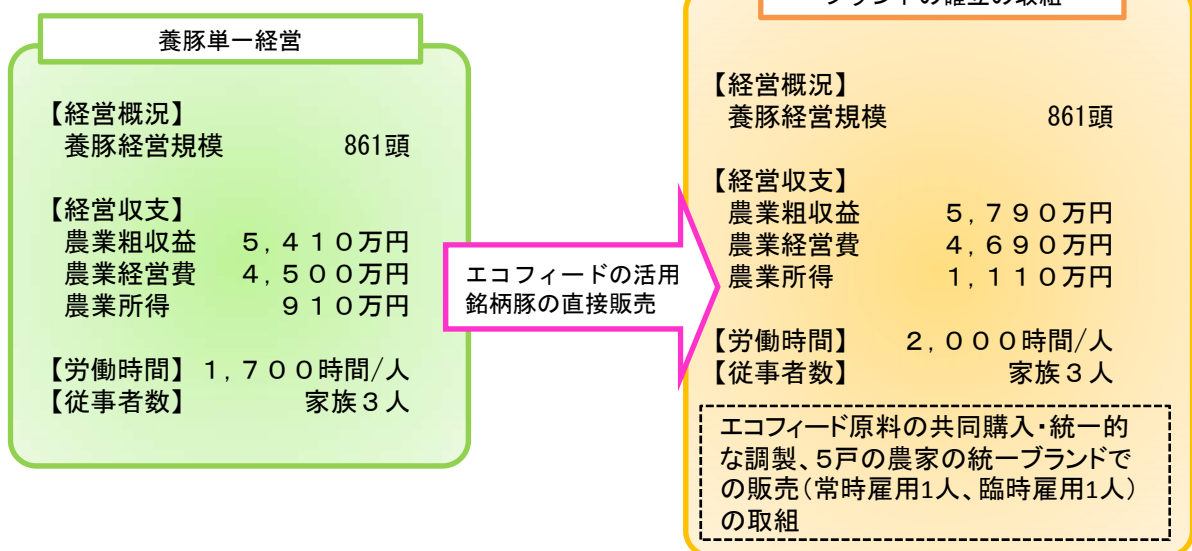
#### <取組のポイント>

- エコフィードや飼料用米の活用により、銘柄豚を作出し、直接販売や加工を行うことでさらなる差別化を図り、飼料供給の集団化と併せて同じ経営規模でも収益性を向上。

#### <経営発展を実現するための具体的取組>

- エコフィードや飼料用米の給与方法等の創意工夫により肉質の向上を図り、銘柄豚を作出。直接販売や加工により付加価値を向上。
- エコフィードや飼料用米の活用にあたり、生産集団としての取組により、飼料供給を省力化・外部化し、コストを低減。  
【国は、エコフィード導入に係る施設整備等を支援】

#### <経営発展のイメージ>



#### (参考) <主な支援策(22年度)>

- 養豚経営安定対策事業による一時的な収益性の悪化に対する支援措置
- エコフィード利活用の円滑化等を図るための支援組織等への活動支援
- 農業制度資金(スーパーL資金、農業近代化資金、農業改良資金等)
- 農業機械等のリース、共同利用施設整備に対する各種補助事業

## 【経営発展の方向】

### Ⅲ 意欲ある多様な農業経営の推進

## 【具体的取組】（水田作）

### ① 集落営農の組織化

## 【基本計画該当箇所】

第2-2	P16
第3-2	
(3)-①	P26
第3-3	
(4)-②	P32

### <取組のポイント>

- 小規模農家や兼業農家が集落営農を組織化し、農作業を一体化。
- 農業機械の効率的利用や戦略作物（小麦、大豆）の作付により、収益を向上。

### <経営発展を実現するための具体的取組>

- 個々に米を作付けている小規模農家、兼業農家が、皆で集落営農を立ち上げ。一定の取り決めの下に機械を共同で利用し、農作業を共同で行うことで生産コストを縮減し、所得を向上。  
【国は、集落営農の取組を推進するため、戸別所得補償制度モデル対策の対象とするとともに、引き続き、融資や機械・施設の整備支援を措置】

### <経営発展のイメージ>

小規模農家 (都府県水田作農家)		都府県集落営農	
【経営概況】	経営耕地 1ha 水稲 0.7ha※	【経営概況】	経営耕地 25ha 水稲11ha 小麦7ha 大豆7ha
【経営収支】		【経営収支】	
農業粗収益	76万円	農業粗収益	2,300万円
農業経営費	66万円	(うち、助成金等)	1,000万円
農業所得	10万円	農業経営費	1,400万円
【家族労働時間】	210時間/人	農業所得	900万円
		<1戸当たり所得>	36万円
		【構成員総労働時間】	3,000時間
		<1戸当たり労働時間>	120時間/人
		【構成世帯数】	25戸
		【従事者数】	出役者 25人

※ 転作率は21年産主食用作付見込面積から30%と設定。

※ 助成金等には、戸別所得補償制度モデル対策及び水田・畑作経営所得安定対策に係る交付金を含めた。

### (参考) <主な支援策(22年度)>

- 戸別所得補償制度モデル対策  
恒常的に販売価格が生産費を下回る米に対して所得補償を直接支払により実施。  
水田の有効利用による麦、大豆等の戦略作物の作付に直接助成。
- 農業制度資金（農業近代化資金等）
- 農業機械等のリース、共同利用施設整備に対する各種補助事業
- 中山間地域等直接支払交付金

## 【経営発展の方向】

### Ⅲ 意欲ある多様な農業経営の推進

## 【具体的取組】（水田作）

### ② そば導入による集落営農の多角化

## 【基本計画該当箇所】

第2-2	P16
第3-2	
(2)-①	P24
(3)-①	P26

### ＜取組のポイント＞

- 集落営農で新たにそばを導入し、集落内の水田を有効利用。
- 地域の老人グループの協力を得るなどして、手打ちそば加工によるそばの高付加価値化。

### ＜経営発展を実現するための具体的取組＞

- 水田休閑地等へ、栽培が比較的容易な土地利用型作物としてそばを導入。
- そば打ちを行うことができる高齢者等の人材の発掘、農業加工施設の整備等により手打ちそばの加工・販売体制を構築。  
【国は、水田の有効活用によるそばの作付に直接助成するとともに、共同利用施設の整備等を支援】

### ＜経営発展のイメージ＞

#### 集落営農（水田単作）

【経営概況】 経営耕地 40ha  
水稲27ha、調整水田13ha  
構成世帯数40戸

【経営収支】  
農業粗収益 3,380万円  
農業経営費 1,910万円

農業所得 1,470万円  
1戸当たり所得 37万円

【構成員労働時間】 4,200時間  
1戸当たり労働時間 100時間

【従事者数】 出役者40人

そばの生産・  
加工・販売

#### 転作そばの手打ち加工販売の取組

【経営概況】 経営耕地 40ha  
水稲27ha、そば作付13ha  
構成世帯数40戸  
手打ちそば加工販売の実施（+α）

【経営収支】  
農業粗収益 4,720万円  
（うち助成金等 660万円）  
農業経営費 2,210万円

農業所得 2,510万円  
1戸当たり所得 63万円（+α）

【構成員総労働時間】 4,700時間  
1戸当たり労働時間 120時間

【従事者数】 出役者40人

※助成金等には、戸別所得補償制度モデル対策を含む。

### （参考）＜主な支援策（22年度）＞

- 戸別所得補償制度モデル対策  
恒常的に販売価格が生産費を下回る米に対して所得補償を直接支払により実施。  
水田の有効活用によるそば等の戦略作物の作付に直接助成。
- 農業機械等のリース、貯蔵施設、製粉機、加工場等の共同利用施設整備に対する各種補助事業
- 農業制度資金（農業近代化資金等）

## 【経営発展の方向】

### Ⅲ 意欲ある多様な農業経営の推進

## 【具体的取組】（水田作）

### ③ 小規模な集落営農

## 【基本計画該当箇所】

第3-2	
(3)-①	P26
第3-3	
(4)-②	P32

### <取組のポイント>

- 小規模な集落営農であっても、農業機械の効率的利用による一定の低コスト化・省力化や戦略作物（大豆）の作付により、収益を改善。
- 余剰労働力でグリーン・ツーリズム等に取り組み、農業以外の収益を確保。

### <経営発展を実現するための具体的取組>

- 小規模な集落営農の場合、一定の限界はあるものの、大豆作も導入して、機械の共同利用や、農作業の共同化により生産コストを縮減し、収益性を改善。
- 営農条件が不利な中山間地域等においては、美しい景観等の地域資源を活用した農村体験、宿泊や来訪者への農産物販売などのグリーン・ツーリズムの取組により、農家所得全体の向上を図る。  
【国は、集落営農の取組を推進するため、戸別所得補償制度の対象とするとともに、引き続き、融資や機械・施設の整備支援を措置】

### <経営発展のイメージ>

#### 中山間地域の水田作農家

【経営概況】	経営耕地	0.5ha
	水稲	0.35ha※
【経営収支】		
	農業粗収益	37万円
	農業経営費	39万円
	農業所得	▲2万円

【家族労働時間】200時間/人

※ 転作率は21年産主食用作付見込面積から30%と設定。

集落営農の  
組織化  
グリーン・ツーリズム等

#### 小規模集落営農

【経営概況】	経営耕地	7.5ha
	水稲5.3ha	大豆2.2ha
	構成農家数	15戸

各農家はグリーン・ツーリズムの取組で収益を確保(+α)

【経営収支】		
	農業粗収益	830万円
	(うち、助成金等)	200万円)
	農業経営費	450万円
	農業所得	380万円
<1戸当たり所得>		25万円+α

【構成員総労働時間】1,200時間  
<1戸当たり労働時間>80時間/人

【従事者数】出役者15人

※ 助成金等には、戸別所得補償制度モデル対策及び水田・畑作経営所得安定対策に係る交付金を含めた。

### (参考) <主な支援策(22年度)>

- 戸別所得補償制度モデル対策  
恒常的に販売価格が生産費を下回る米に対して所得補償を直接支払により実施。  
水田の有効利用による麦、大豆等の戦略作物の作付に直接助成。
- 農業制度資金（農業近代化資金等）
- 農業機械等のリース、共同利用施設整備に対する各種補助事業
- 中山間地域等直接支払交付金

## 【経営発展の方向】

### Ⅲ 意欲ある多様な農業経営の推進

## 【具体的取組】（水田作＋野菜作）

### ④ 水田作経営の複合化

## 【基本計画該当箇所】

第2-2 P16

第3-2

(3)-① P26

### ＜取組のポイント＞

- 水稲と露地野菜による効率的な輪作体系に基づき農地の利用効率を大幅に高めることで、生産性の向上を図るとともに経営耕地面積を増やすことなく収益を向上。

### ＜経営発展を実現するための具体的取組＞

- 水稲と露地野菜を組み合わせた輪作体系により、農地の利用率向上や労働の平準化を図るとともに、病虫害の抑制や地力の維持を実現。
- 水田において露地野菜を生産するため、排水等の条件整備を徹底するとともに、機械化体系の導入等により作業を省力化。
- 水稲の一部を稲WCS（稲発酵粗飼料）の生産に転換することで作業の省力化を図り、次期作であるレタスの育苗管理や施肥管理の時間を捻出。

【国は、水田の有効活用による飼料用稲作付に直接助成するとともに、共同利用施設の整備等を支援】

### ＜経営発展のイメージ＞

#### 都府県主業農家（水田作経営）

【経営概況】	経営耕地	501a
	主食用米	355a
	露地野菜	27a
	作付延べ面積	628a

【経営収支】		
	農業粗収益	780万円
	農業経営費	490万円
	農業所得	290万円

【労働時間】	1,400時間/人
【従事者数】	家族2人

野菜の  
作付拡大

#### 水田作複合経営の取組

【経営概況】	経営耕地	501a
	主食用米	322a
	稲WCS	179a
	レタス	268a
	スイートコーン	268a
	作付延べ面積	1037a

【経営収支】		
	農業粗収益	3,340万円
	（うち助成金等）	190万円
	農業経営費	2,660万円
	農業所得	680万円

【労働時間】	2,000時間/人
【従事者数】	家族2人 臨時雇用5人

※ 助成金等には、戸別所得補償制度モデル対策を含む。

### （参考）＜主な支援策（22年度）＞

- 戸別所得補償制度モデル対策  
恒常的に販売価格が生産費を下回る米に対して所得補償を直接支払により実施。  
水田の有効活用によるWCS用稲等の戦略作物の作付に直接助成。
- 野菜価格安定制度
- 農業制度資金（スーパーL資金、農業近代化資金、農業改良資金等）
- 農業機械等のリース、共同利用施設整備に対する各種補助事業

## 【経営発展の方向】

### Ⅲ 意欲ある多様な農業経営の推進

## 【具体的取組】（水田作＋野菜作）

### ⑤ 水稲等の作業の集団化と直売所での野菜販売

## 【基本計画該当箇所】

第2-2	P16
第3-2	
(3)-①	P26
第3-3	
(4)-②	P32

### ＜取組のポイント＞

- 集落単位での作期の調整や省力技術の導入により、労働時間を削減。
- 余剰の労働力で野菜作等に取り組むことにより、兼業農家も含めて地域水田農業を安定化。

### ＜経営発展を実現するための具体的取組＞

- 集落単位で水稲直播栽培、大豆300A技術を導入し、作期分散、労働時間の削減による効率的な生産体制を構築。
- 中核農家及び機械のオペレーターに水稲、大豆の生産を集中し、集落全体のほ場の排水対策や栽培技術の平準化を実現し、生産を安定化。
- 資材を集落単位で一括購入することにより、経費を節減。
- 中核農家以外の農家は、高齢者や女性を中心となって野菜を生産し、直売所に販売。  
【国は、水田の有効活用による麦・大豆の作付に直接助成するとともに、共同利用施設の整備等を支援】

### ＜経営発展のイメージ＞

#### 小規模水田作農家

#### 【経営概況】

経営耕地	58a
水稲	40a
大豆	9a
調整水田	9a

#### 【経営収支】

農業粗収益	50万円
(うち助成金等)	5万円
農業経営費	49万円
農業所得	1万円

【労働時間】200時間/人

作業の共同化  
野菜は直売所  
で販売

#### 集落営農への移行による水稲等の 作業の集団化と直売所への野菜販売

#### 【経営概況】（農家70名で構成）

経営耕地	34.5ha	
水稲	28.4ha	※この他各農家で野菜を生産
大豆	6.1ha	(平均9a)

#### 【経営収支】

農業粗収益	4,060万円
(うち助成金等)	760万円
農業経営費	2,110万円
農業所得	1,950万円

#### 所得の内訳

中核農家	2戸
(1戸当たり)	630万円
機械オペレーター	4戸
(1戸当たり)	30万円
※中核農家以外の農家(68戸) に580万円を地代・管理作 業賃金等として還元	

#### 【構成員総労働時間】 4,100時間

(中核作業者 1,900時間/人)

※ この他、中核農家以外の各農家は、高齢者や女性を中心となって野菜を生産し、直売所で販売(1戸あたり平均売上げ67万円)

※ 助成金等には、戸別所得補償制度モデル対策を含む。

### (参考) <主な支援策(22年度)>

- 戸別所得補償制度モデル対策  
恒常的な販売価格が生産費を下回る米に対して所得補償を直接支払により実施。  
水田の有効活用による麦、大豆等の戦略作物の作付に直接助成。
- 農業制度資金(農業近代化資金等)
- 農業機械等のリース、共同利用施設整備に対する各種補助事業

## 【経営発展の方向】

### Ⅲ 意欲ある多様な農業経営の推進

【基本計画該当箇所】

第3-2  
(3)-① P26

## 【具体的取組】（肉用牛（繁殖））

### ⑥ 作業の外部委託化と経営基盤の強化

#### ＜取組のポイント＞

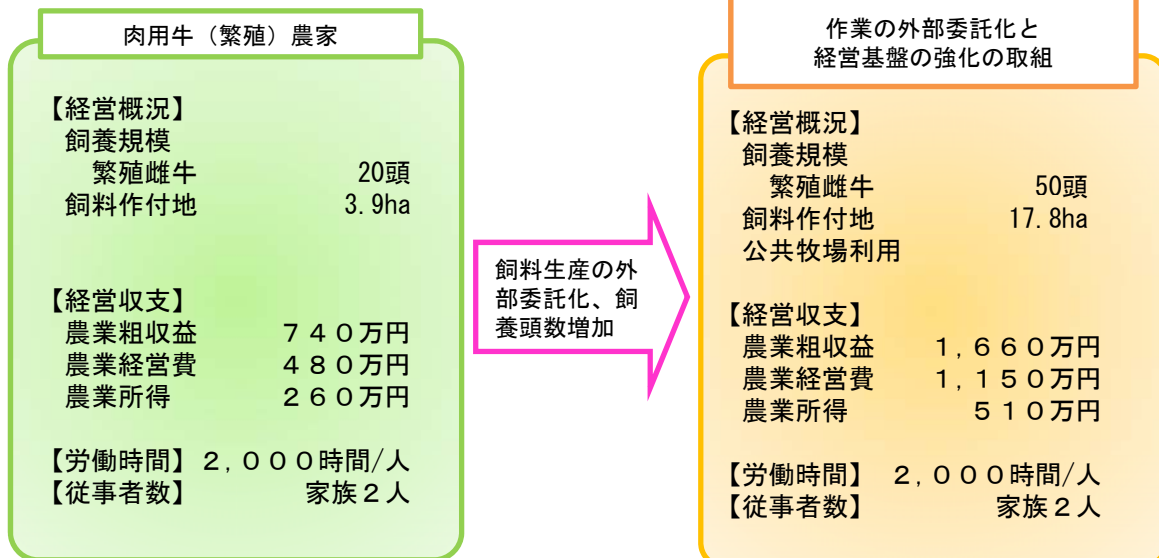
- 繁殖部門に集中するため、飼料生産等を外部委託などに切り替え。
- 繁殖技術の向上をもって子牛の生産性の向上を図るとともに、一定の規模拡大により収益性を向上。

#### ＜経営発展を実現するための具体的取組＞

- コントラクターや公共牧場などの積極的利用により、捻出した労働時間を繁殖雌牛の飼養管理に集中。
- 生産性の向上を図るため、優良繁殖雌牛の導入に加え、子牛の早期離乳などにより分娩間隔の短縮を推進。
- 飼養規模の拡大により、農業機械等の有効活用によるコスト低減と収益性の向上を実現。

【国は、優良繁殖雌牛への更新や共同利用施設整備に対して支援】

#### ＜経営発展のイメージ＞



#### （参考）＜主な支援策（22年度）＞

- 肉用子牛補給金制度等による子牛の価格低落時の支援措置。
- 優良繁殖雌牛更新促進事業による遺伝的資質に優れた繁殖雌牛の導入支援
- 農業制度資金（スーパーL資金、農業近代化資金、農業改良資金等）
- 農業機械等のリース、共同利用施設整備に対する各種補助事業

## (参考) 主な品目別経営指標

### <経営指標の作成と利用について>

農業者の経営計画、経営改善に役に立つ指標として主な品目別に経営収支等を整理した経営指標を示す。

経営指標は、実際の農家を対象とした統計調査である農業経営統計調査「品目別経営統計」を整理することにより作成したものである。年により豊凶変動や価格変動があることから、現時点で利用できる直近3ヶ年の指標を掲載した。

なお、主食用米、小麦、大豆、てんさい、原料用ばれいしょ、さとうきび及び原料用かんしょについては、農業経営統計調査「農産物生産費統計」を整理することにより作成した。

経営指標は、主な品目別に単位当たり所得や労働時間を整理したもので、農業者の作物選択の判断材料としてはもとより、新規就農者の参入部門の検討や経営概要モデルの試算など、幅広い活用を想定したものである。

### <利用上の留意点>

この経営指標は、当該品目を生産するに当たって農業固定資産など標準的な装備、技術を前提としたものであり、当該品目を作付けることにより、これら経営が達成されることを保証するものではないことに留意する必要がある。

### 経営指標を用いた経営概要モデルの試算イメージ

				品目別等の経営指標			経営全体
				水稲	小麦	はくさい	
粗	収	益	円/10a				
経	営	費	"				
所	得		"				
補	助	金	"				
労	働	時	時間/10a				

それぞれの指標に作付面積を乗じて積み上げれば、経営全体収支の試算が可能！

### 品目別経営指標の注意事項

注1 主食用米、小麦、大豆、てんさい、原料用ばれいしょ、さとうきび及び原料用かんしょの各指標は、農産物生産費統計に基づいて算出しており、主産物の生産に係る経営収支である。

また、これら粗収益には、農産物生産費統計に基づく助成金等が含まれている。

2 19年産の小麦、大豆、てんさい及び原料用ばれいしょには、水田畑作経営所得安定対策の交付金のうち、過去の生産実績に基づく交付金相当額として、面積当たりの全国平均単価を当該品目の粗収益に加算した。

(小麦27,740円/10a、大豆20,230円/10a、てんさい28,910円/10a、原料用ばれいしょ37,030円/10a)

なお、水田畑作経営所得安定対策の交付金相当額のうち、毎年の生産量・品質に基づく交付金は、粗収益（主産物）に含まれている。

3 田作の小麦、大豆については、農業経営に対して支払われる産地づくりなどの生産調整に係る交付金は粗収益に含まれていない。

4 茶の単位当たり収量（kg/10a）は、生葉収量で換算した。

### 「水田作」

		主食用米注1			小麦（田作）注1,2,3			大豆（田作）注1,2,3		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗収益	千円/10a	114	111	106	55	51	52	43	41	48
経営費	"	81	81	80	43	41	45	41	39	42
所得	"	33	29	26	13	9	7	2	1	6
単位当たり収量	kg/10a	524	511	511	393	368	423	175	165	177
労働時間	時間/10a	30.0	29.2	28.5	7.5	7.5	5.8	11.4	10.1	9.0
うち家族	"	28.4	27.6	26.9	7.3	7.3	5.5	10.7	9.1	7.9
1時間当たり所得	円/時間	1,154	1,067	986	1,740	1,298	1,212	214	145	773
所得率	%	28.7	26.6	24.9	23.0	18.5	12.7	5.3	3.2	12.6

		六条大麦			裸麦			二条大麦		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗収益	千円/10a	56	44	51	43	48	60	50	44	49
経営費	"	31	33	36	37	35	37	36	35	37
所得	"	25	11	15	6	13	23	14	9	12
単位当たり収量	kg/10a	369	287	326	270	325	400	365	335	392
労働時間	時間/10a	5.7	5.4	5.0	9.5	9.7	9.7	7.1	7.2	6.9
うち家族	"	5.5	5.2	4.6	9.4	9.6	9.6	7.0	7.0	6.8
1時間当たり所得	円/時間	4,228	2,164	3,227	481	1,172	2,385	1,759	1,062	1,694
所得率	%	41.6	25.8	29.4	10.5	23.6	38.1	24.3	16.9	23.6

		いぐさ（畳表）			そば		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗収益	千円/10a	553	527	690	44	56	40
経営費	"	351	343	395	26	26	32
所得	"	202	184	295	18	30	8
単位当たり収量	kg/10a	1,319	1,186	1,290	64	93	74
労働時間	時間/10a	531.9	485.0	518.4	6.2	7.3	4.2
うち家族	"	507.4	459.1	490.6	6.2	7.3	4.2
1時間当たり所得	円/時間	400	402	601	2,673	3,961	2,223
所得率	%	36.6	35.0	42.8	37.4	52.3	23.1

「畑作」

		小麦(畑作)注1,2			大豆(畑作)注1,2			小豆		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗 収 益	千円/10a	72	73	61	56	56	60	62	70	69
経 営 費	"	44	43	45	34	35	37	47	46	42
所 得	"	28	30	16	22	22	23	15	24	27
単位当たり収量	kg/10a	506	479	519	216	231	248	274	275	281
労働時間	時間/10a	3.1	3.1	2.9	13.4	10.2	9.0	14.7	11.6	11.6
うち家族	"	3.1	3.1	2.9	12.2	9.2	7.7	13.8	10.6	10.5
1時間当たり所得	円/時間	8,988	9,800	5,627	1,808	2,363	3,013	993	2,252	2,417
所得率	%	38.5	41.2	26.2	39.0	38.4	38.6	21.9	34.2	36.7

		いんげん(北海道)			らっかせい			こんにゃくいも		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗 収 益	千円/10a	63	47	66	125	153	131	335	339	395
経 営 費	"	40	40	42	43	49	53	186	186	200
所 得	"	23	7	24	82	104	78	149	153	195
単位当たり収量	kg/10a	260	180	220	340	357	268	3,927	3,975	3,851
労働時間	時間/10a	12.1	10.7	11.4	68.0	72.0	69.3	110.0	119.6	116.0
うち家族	"	11.1	9.4	10.0	62.0	66.1	62.7	89.7	97.8	93.6
1時間当たり所得	円/時間	2,083	673	2,395	1,323	1,575	1,260	1,658	1,567	2,082
所得率	%	35.9	13.3	36.5	65.6	68.0	60.5	44.3	45.1	49.4

		かんしょ			ぱれいしょ			茶注4		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗 収 益	千円/10a	207	228	215	143	146	132	400	348	348
経 営 費	"	110	111	110	89	89	86	261	239	249
所 得	"	97	117	105	54	57	46	139	109	99
単位当たり収量	kg/10a	2,872	2,718	2,592	3,639	3,560	3,698	1,125	1,064	1,099
労働時間	時間/10a	128.2	120.1	118.3	30.4	31.6	30.6	138.8	127.8	125.4
うち家族	"	116.3	106.5	104.4	26.2	26.4	27.1	113.2	106.7	104.5
1時間当たり所得	円/時間	857	1,091	1,008	2,155	2,176	1,708	1,247	1,012	943
所得率	%	48.1	50.6	48.5	39.3	39.2	34.6	35.2	31.0	28.4

		そば			てんさい注1,2			原料用ぱれいしょ注1,2		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗 収 益	千円/10a	31	34	26	101	94	95	78	69	96
経 営 費	"	14	17	17	64	66	65	48	49	49
所 得	"	17	17	9	37	28	30	29	20	47
単位当たり収量	kg/10a	96	104	94	6,150	5,828	6,367	4,367	4,093	4,429
労働時間	時間/10a	5.0	5.4	4.9	15.5	15.3	15.2	8.6	8.3	8.3
うち家族	"	4.6	5.0	4.5	13.7	13.4	13.6	8.2	7.9	7.9
1時間当たり所得	円/時間	3,332	3,264	1,858	2,696	2,111	2,178	3,599	2,543	5,923
所得率	%	49.4	49.0	32.5	36.4	30.0	31.1	37.9	29.3	48.7

		さとうきび注1			原料用かんしょ注1		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗 収 益	千円/10a	125	134	153	105	100	90
経 営 費	"	67	72	81	46	48	55
所 得	"	57	62	72	59	52	35
単位当たり収量	kg/10a	6,015	6,367	7,161	3,301	3,139	2,827
労働時間	時間/10a	86.2	85.3	84.5	58.4	57.1	61.9
うち家族	"	77.6	76.9	76.6	50.7	49.6	51.2
1時間当たり所得	円/時間	738	805	939	1,159	1,040	682
所得率	%	45.9	46.0	46.9	56.0	51.6	38.7

「露地野菜作」

		ししとう			なす			きゅうり		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗 収 益	万円/10a	142	213	201	141	168	180	123	169	177
経 営 費	"	50	61	58	59	56	58	50	57	59
所 得	"	92	152	143	83	112	123	73	112	119
単位当たり収量	kg/10a	2,523	2,803	2,460	7,938	7,216	7,674	8,362	8,511	8,191
労働時間	時間/10a	2,050.4	2,266.8	2,155.3	1,007.3	1,006.0	1,049.1	925.0	919.5	931.7
うち家族	"	1,989.3	2,218.0	2,119.6	936.3	935.9	969.1	883.9	867.8	918.6
1時間当たり所得	円/時間	462	688	676	882	1,196	1,263	830	1,291	1,290
所得率	%	64.9	71.5	71.5	58.5	66.5	67.9	59.5	66.4	66.9

		大玉トマト			ピーマン			ミニトマト		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗 収 益	万円/10a	148	152	154	103	131	143	175	177	179
経 営 費	"	70	62	64	50	47	53	89	83	99
所 得	"	78	90	90	53	84	90	86	94	80
単位当たり収量	kg/10a	7,823	7,275	7,620	5,219	5,005	5,431	4,111	3,286	3,658
労働時間	時間/10a	766.9	685.2	709.1	822.2	767.2	775.6	1,186.2	1,190.7	1,311.2
うち家族	"	742.5	652.2	677.4	802.6	739.8	730.5	1,157.7	1,155.5	1,287.1
1時間当たり所得	円/時間	1,057	1,383	1,328	656	1,132	1,219	747	811	622
所得率	%	52.9	59.4	58.5	51.2	64.0	62.5	49.5	53.1	44.8

		青ねぎ			白ネギ			メロン		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗 収 益	万円/10a	71	72	87	61	61	68	50	48	54
経 営 費	"	34	37	36	27	30	28	23	23	25
所 得	"	37	35	50	34	31	40	27	25	29
単位当たり収量	kg/10a	2,171	2,292	2,323	3,060	2,978	2,890	2,060	1,932	2,033
労働時間	時間/10a	551.2	603.8	587.0	340.4	353.0	336.5	235.5	213.3	220.9
うち家族	"	535.3	574.5	561.3	312.7	304.4	297.6	229.5	200.2	206.2
1時間当たり所得	円/時間	683	608	897	1,062	1,019	1,353	1,195	1,279	1,389
所得率	%	51.5	48.9	58.2	55.0	50.9	59.3	54.9	53.1	52.9

		にんにく			さといも			すいか		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗 収 益	万円/10a	60	49	58	33	42	41	56	63	59
経 営 費	"	28	29	31	16	15	15	30	32	33
所 得	"	32	20	27	17	27	26	27	31	26
単位当たり収量	kg/10a	1,072	1,074	996	2,022	1,806	1,739	5,073	5,070	4,901
労働時間	時間/10a	256.3	269.9	263.6	213.7	190.0	191.7	219.4	222.2	221.2
うち家族	"	192.9	184.1	174.8	196.1	179.2	182.2	208.6	211.6	209.6
1時間当たり所得	円/時間	1,666	1,057	1,513	881	1,512	1,425	1,282	1,455	1,222
所得率	%	53.4	39.7	45.9	52.4	64.6	63.0	47.4	49.1	43.6

		レタス			キャベツ			ほうれんそう		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗 収 益	万円/10a	42	43	48	39	33	39	36	32	34
経 営 費	"	24	23	24	18	20	21	17	17	16
所 得	"	18	20	23	21	13	18	20	15	18
単位当たり収量	kg/10a	3,048	3,161	3,246	5,758	5,359	5,834	1,011	980	987
労働時間	時間/10a	132.3	135.2	133.4	84.6	87.3	89.8	220.4	217.4	219.7
うち家族	"	119.3	124.1	115.8	80.2	78.8	80.8	186.2	183.0	187.6
1時間当たり所得	円/時間	1,477	1,574	2,042	2,580	1,581	2,255	1,052	835	968
所得率	%	42.0	45.7	49.6	53.6	37.9	46.5	53.9	47.7	53.1

「露地野菜作」(つづき)

		にんじん			だいこん			はくさい		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗 収 益	万円/10a	35	38	36	32	28	32	30	28	32
経 営 費	"	21	19	20	16	17	18	19	19	20
所 得	"	15	18	15	16	11	14	11	9	12
単位当たり収量	kg/10a	4,097	4,133	4,348	5,721	5,592	5,740	6,798	6,692	7,568
労働時間	時間/10a	125.3	117.7	118.2	128.2	109.7	118.7	92.5	86.6	92.5
うち家族	"	102.7	98.6	98.0	116.7	94.9	105.3	76.4	72.5	77.7
1時間あたり所得	円/時間	1,431	1,848	1,590	1,357	1,167	1,311	1,444	1,193	1,613
所得率	%	41.5	48.4	43.7	49.2	38.9	43.8	37.4	31.3	38.9

		たまねぎ		
		17年	18年	19年
粗 収 益	万円/10a	39	39	32
経 営 費	"	19	20	21
所 得	"	20	19	11
単位当たり収量	kg/10a	5,861	5,969	6,142
労働時間	時間/10a	139.4	140.5	139.3
うち家族	"	127.6	125.7	120.3
1時間あたり所得	円/時間	1,594	1,540	916
所得率	%	52.0	49.8	34.3

「施設野菜作」

		ミニトマト			いちご			なす		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗 収 益	万円/10a	411	411	407	342	350	360	325	358	351
経 営 費	"	206	200	204	168	172	170	178	187	182
所 得	"	206	211	203	174	179	190	147	171	169
単位当たり収量	kg/1000㎡	7,864	7,474	7,944	3,951	3,962	4,082	13,841	14,559	15,190
労働時間	時間/10a	1,484.7	1,451.0	1,488.2	2,141.2	2,106.4	2,091.6	1,720.6	1,724.9	1,756.9
うち家族	"	1,237.0	1,179.2	1,201.4	2,013.1	1,932.4	1,937.7	1,623.3	1,646.9	1,649.6
1時間あたり所得	円/時間	1,661	1,790	1,688	865	924	980	908	1,037	1,028
所得率	%	49.9	51.4	49.8	51.0	51.0	52.8	45.4	47.7	48.3

		ししとう			きゅうり			大玉トマト		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗 収 益	万円/10a	427	424	376	229	245	243	250	246	260
経 営 費	"	312	239	230	111	108	109	142	136	137
所 得	"	115	186	146	118	137	134	109	111	123
単位当たり収量	kg/1000㎡	5,275	4,618	4,212	11,226	10,264	10,717	10,788	10,102	11,008
労働時間	時間/10a	3,867.8	3,342.1	2,983.4	1,101.0	1,048.2	1,095.1	968.1	933.2	946.7
うち家族	"	3,175.7	2,802.9	2,411.1	1,003.7	957.1	1,023.3	876.1	840.1	841.8
1時間あたり所得	円/時間	363	661	605	1,170	1,430	1,311	1,239	1,318	1,457
所得率	%	27.0	43.7	38.8	51.3	55.8	55.2	43.4	45.0	47.3

		ピーマン			メロン			すいか		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗 収 益	万円/10a	300	288	287	114	120	125	72	66	75
経 営 費	"	176	169	173	67	67	68	36	35	37
所 得	"	123	119	114	47	53	57	36	31	37
単位当たり収量	kg/1000㎡	9,640	8,781	8,782	2,811	2,691	2,785	3,819	3,722	3,880
労働時間	時間/10a	1,248.4	1,163.9	1,162.3	477.1	466.0	492.7	330.5	289.7	292.6
うち家族	"	932.1	827.6	816.3	412.0	406.3	447.4	316.7	274.3	280.6
1時間あたり所得	円/時間	1,320	1,441	1,397	1,142	1,312	1,272	1,147	1,109	1,334
所得率	%	41.1	41.5	39.7	41.4	44.5	45.4	50.3	46.0	50.2

「施設野菜作」(つづき)

		青ねぎ		
		17年	18年	19年
粗 収 益	万円/10a	88	88	86
経 営 費	"	52	56	52
所 得	"	36	32	34
単位当たり収量	kg/1000㎡	1,324	1,313	1,246
労働時間	時間/10a	620.1	620.2	574.5
うち家族	"	395.6	392.1	354.0
1時間あたり所得	円/時間	914	820	969
所得率	%	41.2	36.6	39.7

「果樹作」

		おうとう			キウイフルーツ			ぶどう		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗 収 益	万円/10a	77	82	79	56	53	55	68	64	68
経 営 費	"	39	42	42	18	18	19	33	33	34
所 得	"	38	39	36	38	35	36	35	32	34
単位当たり収量	kg/10a	330	404	366	2,228	2,349	2,131	1,231	1,203	1,196
労働時間	時間/10a	315.2	342.0	307.2	262.4	252.8	238.2	470.0	458.6	454.7
うち家族	"	232.6	238.9	213.6	251.8	242.6	224.4	443.5	433.5	428.6
1時間あたり所得	円/時間	1,627	1,638	1,702	1,498	1,442	1,581	781	733	800
所得率	%	49.2	48.0	46.2	67.7	66.4	65.0	51.2	49.5	50.2

		もも			日本なし			すもも		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗 収 益	万円/10a	57	56	57	56	56	59	48	46	46
経 営 費	"	32	27	28	33	33	33	24	24	24
所 得	"	26	28	29	23	24	27	24	22	23
単位当たり収量	kg/10a	1,849	1,707	1,661	2,354	2,131	2,184	1,474	1,017	1,138
労働時間	時間/10a	302.0	277.5	284.4	387.4	377.0	366.6	291.3	250.1	259.6
うち家族	"	282.2	259.2	259.5	359.7	351.7	344.6	268.7	222.9	236.5
1時間あたり所得	円/時間	901	1,092	1,098	642	675	779	888	993	946
所得率	%	44.5	51.0	50.2	41.5	42.0	45.2	49.5	48.2	48.3

		びわ			りんご			かき		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗 収 益	万円/10a	57	50	44	38	40	41	33	37	38
経 営 費	"	26	24	22	23	23	23	21	20	20
所 得	"	30	26	22	15	18	18	12	17	18
単位当たり収量	kg/10a	697	548	451	2,372	2,416	2,467	1,979	1,662	1,832
労働時間	時間/10a	463.9	412.3	369.6	273.2	273.3	272.9	195.7	176.5	185.9
うち家族	"	428.3	392.6	351.2	240.0	237.1	233.1	167.7	155.6	158.3
1時間あたり所得	円/時間	706	648	624	652	731	775	710	1,102	1,127
所得率	%	53.6	51.0	50.2	40.6	42.9	43.8	36.2	46.1	47.3

		みかん			なつみかん			うめ		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗 収 益	万円/10a	41	49	42	24	33	31	44	38	33
経 営 費	"	28	26	28	18	14	17	22	22	20
所 得	"	13	22	14	6	19	14	23	16	13
単位当たり収量	kg/10a	3,091	2,412	2,913	2,738	2,732	3,487	1,483	1,580	1,517
労働時間	時間/10a	249.4	219.6	236.3	152.3	150.8	164.7	236.0	229.0	223.8
うち家族	"	223.7	202.8	214.1	137.3	137.0	147.6	205.8	195.6	197.5
1時間あたり所得	円/時間	551	1,091	654	455	1,377	927	1,091	799	670
所得率	%	30.5	45.8	33.4	25.6	57.3	44.8	50.7	41.5	40.1

「果樹作」(つづき)

		ネーブルオレンジ			はっさく			パイナップル		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗 収 益	万円/10a	45	49	35	45	49	36	22	22	21
経 営 費	〃	23	22	23	23	25	23	12	13	13
所 得	〃	22	28	13	22	25	13	10	10	9
単位当たり収量	kg/10a	2,206	2,078	2,631	4,157	3,709	3,518	2,063	2,127	2,344
労働時間	時間/10a	269.7	273.8	256.4	173.5	178.0	173.6	101.0	97.6	81.1
うち家族	〃	249.5	254.6	238.7	154.8	159.2	153.8	93.9	85.8	70.0
1時間当たり所得	円/時間	883	1,079	535	1,440	1,545	828	1,010	1,107	1,211
所得率	%	49.0	55.6	36.2	49.3	50.1	35.3	43.5	43.0	39.7

		くり			いよかん		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗 収 益	万円/10a	10	12	11	22	24	20
経 営 費	〃	5	5	5	21	13	15
所 得	〃	5	7	6	1	11	5
単位当たり収量	kg/10a	227	272	242	2,308	1,947	2,410
労働時間	時間/10a	55.6	59.1	55.1	156.3	133.7	145.2
うち家族	〃	48.1	51.0	47.0	143.8	124.8	131.9
1時間当たり所得	円/時間	1,061	1,278	1,312	59	862	348
所得率	%	50.8	56.0	55.0	3.9	45.1	23.5

「露地花き作」

		切り花(きく)		
		17年	18年	19年
粗 収 益	万円/10a	109	110	106
経 営 費	〃	52	53	51
所 得	〃	58	57	56
単位当たり収量	本/10a	33,282	33,090	32,388
労働時間	時間/10a	728.2	710.2	657.1
うち家族	〃	623.3	596.5	532.3
1時間当たり所得	円/時間	932	958	1,037
所得率	%	53.1	52.1	52.0

「施設花き作」

		切り花(ばら)			切り花(カーネーション)			鉢物(シクラメン)		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗 収 益	万円/10a	540	560	575	446	468	471	423	492	503
経 営 費	〃	378	406	381	322	332	334	342	388	400
所 得	〃	162	153	194	124	137	137	80	104	104
単位当たり収量	本/1000㎡	94,443	85,845	85,809	102,450	100,101	99,788	8,398	8,676	8,518
労働時間	時間/10a	2,261.2	2,245.9	2,271.2	2,023.8	2,036.3	1,998.1	2,257.2	2,421.9	2,482.6
うち家族	〃	1,851.7	1,884.6	1,850.1	1,435.1	1,434.9	1,411.5	1,262.0	1,280.7	1,348.3
1時間当たり所得	円/時間	877	815	1,049	863	951	972	635	815	768
所得率	%	30.1	27.5	33.8	27.7	29.2	29.1	19.0	21.2	20.6

		切り花(ゆり)			切り花(きく)		
		17年	18年	19年	17年	18年	19年
粗 収 益	万円/10a	294	298	291	196	213	203
経 営 費	〃	219	212	222	120	136	129
所 得	〃	75	86	69	77	77	74
単位当たり収量	本/1000㎡	25,354	22,928	22,282	36,364	39,173	37,791
労働時間	時間/10a	920.1	823.9	767.8	811.7	859.4	795.6
うち家族	〃	847.3	758.5	689.9	666.8	699.6	648.6
1時間当たり所得	円/時間	881	1,127	997	1,151	1,102	1,139
所得率	%	25.4	28.7	23.6	39.1	36.3	36.4